

町民税増収分は高齢者福祉に

梶田進議員は、3月8日、日本共産党議員団を代表して一般質問をおこない、町民税の増収分（町民負担増）は高齢者福祉の充実にと質問し、町当局の見解をたたしました。

**定率減税廃止で
1万9千人が増税**

740人が負担増

答弁 定率減税廃止で1

梶田進議員 「三位一体改革」による定率減税の廃止、税源委譲による町民税への影響はどのようになるか。

万9千人に影響があり、約1億1千万円の負担増。税源委譲による税率変更により4億2千万円の負担増となる。



一般質問を行う梶田進議員（3月8日）

また、65歳以上で所得が125万円以下の非課税であった方が、3分の2課税となる影響で740人、230万円の負担増となる。

一方、所得譲与税が廃止され3億2千万円の減収となる。

今後負担金・補助金の縮小が考えられる。補助金が交付金制度となったものもあり、先行きは不

透明といえる。

増収分は高齢者に配分を

梶田進議員 昨年の所得

控除の廃止・削減、介護保険料引き上げなどで、高齢者の負担が重くなっている。増収分を高齢者対策に使うべきだ。

現状では厳しい

答弁 トータルで見ると

税収は増えていない、高齢者への助成は現状では難しい。

**日本共産党要望で
実現した項目は**

梶田進議員 日本共産党

が07年度予算で要望した事項がどのように実施されたか。

公共施設の耐震化など

答弁 公共施設の耐震化

では、武豊小北校舎の改築、西保育園の改築などを実施。

高齢者福祉では、思いやり

センターの建設、高齢者の引きこもりを防止するため、憩いサロンの新設などを実施。教育関係では、富貴中学校グランドへの夜間照明設置。

小中学校教員すべてに、教職員用パソコンの配置などを実施した

第5次総合計画の基本

梶田進議員 第5次総合

計画の策定が進められているが、総合計画に、高齢者対策として、巡回バスの運行。気軽に集まることができる場所の提供などの施策。

今後、重要性を増す農業問題として、兼業農家の育成・

発展のための施策。

道路整備の遅れを取り戻す。特に、町内の東西道路の整備促進などを盛り込んでいただきたい。

住民の意識は変化

答弁 アンケート結果で

は、10年前と住民の意向が変わってきている。現在では高齢者対策、財政運営、災害対策、子育てなどに関心が高い。充分、議論・検討していきたい。

水田の多機能に着目

兼業農家は減ってきている。

生産組合と連携しながら、担い手をどうしていくか考えていきたい。水田の洪水調整機能、景観など多機能性に着目していきたい。

道路について、東部線交差点につながる町道については整備計画を立て、整備していきたい。

